

| 中小企業活性化の目標 （「活性化した」と言える状況） | 目標達成を図る代表的な指標 （R4-R6）▶（R7-R9） | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 | 目標達成に向け、県の施策などで目指す指標 （R4-R6） | 方針 | 変更後（R7-R9）の指標 | 変更理由 | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 |
|---|---|----------------|----------------|----------------|--|----|--|---|------------|------------|------------|
| 自動車、半導体、医療機器関連産業等の集積や企業誘致の推進により、中小企業が、主体的に大企業や他の中小企業との連携を促進し、価格や品質面での競争力を高め、また新たなイノベーションの創出を図るなど、提案型企業として、付加価値の高い商品やサービスを生み出し、域内外への商品展開力を身につける。 | ① 中小製造業の製造品出荷額（億円） | 14,600 (R6) | 14,892 (R7) | 15,190 (R8) | 1 自動車関連で継続した取引のある企業会員数（社） | 継続 | | | 110 | 115 | 120 |
| | | | | | 2 半導体関連企業の事業化および販路開拓件数（研究開発による事業化件数、販路開拓事業による新規取引件数）（年間） | 継続 | | | 29 | 29 | 29 |
| | | | | | 3 大分県医療ロボット・機器産業協議会の会員企業・支援機関数 | 変更 | 医療関連機器研究開発プロジェクト支援件数（件） | 医療関連機器産業振興の基となる地域活性化総合特区「東九州メディカルバレー構想」の成果指標とあわせて変更するもの | 3 | 3 | 3 |
| | | | | | 4 食品出荷額（億円） | 継続 | | | 3,014 | 3,074 | 3,135 |
| | | | | | 5 6次産業化等の新規取組件数（件） | 継続 | | | 12 | 12 | 12 |
| | | | | | 6 おおいた中小企業活力創出基金助成事業による事業（商品開発・販路開拓）等の採択件数（年間） | 継続 | | | 8 | 8 | 8 |
| | | | | | 7 官公需の中小企業向け契約率（%） | 継続 | | | 87.8 | 87.8 | 87.8 |
| | ② 企業誘致件数（件） | 50 | 50 | 50 | 8 サテライトオフィスへの企業誘致件数（単年） | 削除 | | サテライトオフィスの企業誘致については、整備したオフィスへの誘致がある程度進んだことから、今後はサテライトオフィスへの誘致に取り組むと共に、進出企業へのフォロー強化（交流促進等）に取り組む方向で事業を見直すため | - | - | - |
| | | | | | 9 企業訪問件数（件） | 継続 | | | 1,100 | 1,100 | 1,100 |
| | ③ （新）DXに取り組む県内中小企業等の割合（%）を追加 | 69.4 | 72.6 | 75.8 | データ経営を普及する支援者の育成数（人） | 追加 | | ・代表的な指標の追加によるもの ・中小企業の生産性向上に向けて、データに基づく経営を行う企業を創出するため、データ経営の普及に向けた支援人材の育成を設定する。 | 20 | 20 | 20 |
| | | | | | デジタルスキル向上の人材育成をした事業者数（事業者） | | ・代表的な指標の追加によるもの ・デジタル化が進んでいない中小企業において、業務のデジタル化や、データの取得・分析・活用ができる人材の育成を推進するため、デジタルスキル向上のための人材育成をした事業者数を設定する。 | 60 | 60 | 60 | |
| | | | | | AI関連プロジェクト創出数（件） | | ・代表的な指標の追加によるもの ・AI活用による地域課題解決と県内産業の振興を図るため、AI関連プロジェクトの創出数を設定する。 | 5 | 5 | 5 | |
| | ④ （旧）IoT等のプロジェクト事業化件数（件） ▶（新）先端技術挑戦産学連携プロジェクトに取り組む県内企業数（社・累計）に変更 | 10 | 15 | 20 | 10 IoTプロジェクトに対する補助件数（件） | 変更 | 先端技術研究会の開催回数（回） | ・代表的な指標の変更によるもの ・先端技術に関する有識者の講演等を通じて、県内企業が新分野への挑戦を後押しする | 5 | 5 | 5 |
| 11 ドローンを活用した実証実験件数（件） | | | | | マッチング相談件数（件） | | ・代表的な指標の変更によるもの ・ビジネス機会の創出等を目的に県内企業と県外企業や大学、研究機関など高等教育機関等とのマッチングを後押しするもの | 20 | 20 | 20 | |
| 12 アバターを活用したサービスの実用化件数（件） | | | | | イノベーション人材育成講座開催回数（回） | | ・代表的な指標の変更によるもの ・イノベーションの創出に必要な戦略的手順の検討能力を備える人材育成を図り、プロジェクトの開発につなげるもの | 3 | 3 | 3 | |
| 13 モビリティサービス事業化件数（件） | | | | | | | | | | | |

| 中小企業活性化の目標 （「活性化した」と言える状況） | 目標達成を図る代表的な指標 （R4-R6 ▶ R7-R9） | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 | 目標達成に向け、県の施策などで目指す指標 （R4-R6） | 方針 | 変更後（R7-R9）の指標 | 変更理由 | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 | |
|---|----------------------------------|------------|------------|------------|---|-----|-----------------------|--|------------|------------|------------|--------|
| <p>成長を後押しする経営革新やベンチャー企業の育成により、中小企業が需要の縮小や消費者ニーズの多様化に対応するため、新たな商品・サービスの開発や新事業展開を推進し、売上げや収益力の向上を図る。また、創業支援等により、創業者数が増加する。</p> | ⑤ 創業支援件数（件） | 700 | 700 | 700 | 14 スタートアップセンター利用延べ人数（人） | 継続 | | | 1,800 | 1,800 | 1,800 | |
| | | | | | 15 ビジネスプラングランプリ応募件数（件） | 変更 | ビジネスチャレンジコンテスト応募件数（件） | リブランディングに伴い指標名を変更するもの | 50 | 50 | 50 | |
| | ⑥ 経営革新計画承認件数（件） | 120 | 120 | 120 | 16 （経営革新承認事業者のうち）年率3%以上の付加価値額（または一人あたり付加価値額）の伸びを達成した事業者の割合（%） | 継続 | | | | 50 | 50 | 50 |
| | | | | | 17 県内支援機関の支援による国の支援策（再構築、ものづくり、持続化）採択件数の割合（%） | 継続 | | | | 1 | 1 | 1 |
| | | | | | 18 商工団体による巡回指導件数（件） | 継続 | | | | 29,230 | 29,230 | 29,230 |
| | | | | | 19 クリエイティブ産業育成の政策に基づく創造的人材と企業との連携による商品・サービス事業化件数（年間） | 継続 | | | | 14 | 14 | 14 |
| | | | | | 20 県内産業財産権出願件数（件） | 変更 | 知財支援機関による知的財産相談件数（件） | 大分県知財総合戦略の総合目標にあわせて変更するもの | 1,528 | 1,584 | 1,641 | |
| | 21 地域づくり取り組み件数(地域活力づくり総合補助金)（年間） | 継続 | | | | 120 | 120 | 120 | | | | |
| | ⑦ 事業承継相談対応件数（件） | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 22 事業承継関係イベント参加者数（人） | 変更 | エリアネットワーク連絡会議の参加者数（人） | ・事業の見直しによるもの ・成果指標である事業承継相談対応件数を確保するためには、商工会・商工会議所経営指導員、市町村担当者を対象に、エリア毎の事業承継診断推進のため実施する、エリアネットワーク連絡会議の参加人数を確保することが効果的であるため。 | 107 | 107 | 107 | |

| 中小企業活性化の目標 （「活性化した」と言える状況） | 目標達成を図る代表的な指標 （R4-R6）▶（R7-R9） | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 | 目標達成に向け、県の施策などで目指す指標 （R4-R6） | 方針 | 変更後（R7-R9）の指標 | 変更理由 | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 |
|---|--|---------------|---------------|---------------|---|----|--|---|------------|------------|------------|
| 商店街の振興策により、商店街が自ら創意工夫して意欲を持って活性化に取り組むようになり、地域の特性を活かした個性的な商店街が増加する。また、求評・商談会の実施や海外展開支援により、情報発信を強化し、消費者ニーズに合った商品の開発や、大都市圏、海外におけるビジネスを展開する中小企業が増加する。 | ⑧ (旧) サービス産業の労働生産性 (万円/人) ▶ (新) 県民一人当たり卸売・小売業等売上高 (千円/人) に変更 | 2,654 (R6) | 2,683 (R7) | 2,712 (R8) | 23 県の施策により1人当たり労働生産性が前年度比2%以上向上したサービス産業関連企業数(社) | 変更 | 県の施策によりデジタル活用等の効果的な情報発信に取り組んだ個店等の数(社/年) | ・代表的な指標の変更によるもの ・消費を行動に移してもらい、売り上げを増加させるためには、企業が受け身でなく主体的な情報発信をすることが必要 ・特に、ソーシャルメディアの発達により、多くの人々が情報の検索等をSNS等を利用。今後消費の中心となるZ世代以降では顕著。デジタル活用等による情報発信が必要 | 30 | 30 | 30 |
| | | | | | 24 県の支援策を活用して活性化に取り組んだ商店街のうち設定目標を達成した割合(%) | | 民間アイデア等を活用し、商店街等のコミュニティ機能強化を実施した件数(件/年) | ・代表的な指標の変更によるもの ・商店街が高齢化、後継者不足の課題を抱える中、民間アイデア等を活用し、商店街機能を維持していくことが必要 | 2 | 2 | 2 |
| | | | | | 25 オンライン商談会での商談成約数(件) | | 対面商談会への参加事業者数(件) | ・代表的な指標の変更によるもの ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、対面での商談会を望む声が多いことから、対面での商談会を検討 | 70 | 70 | 70 |
| | | | | | 26 サービス産業の経営革新承認企業数(件) | | | | | | |
| | ⑨ 観光消費額(億円) | 2,631 | 2,653 | 2,676 | 27 県内宿泊客数(千人) | 継続 | | | 8,359 | 8,515 | 8,593 |
| | | | | | 28 外国人宿泊客数(千人) | 継続 | | | 1,328 | 1,406 | 1,484 |
| | | | | | 29 観光入込客数(千人) | 変更 | 外国人旅行消費額(億円) | 国の「明日の日本を支える観光ビジョン」の目標値である訪日外国人旅行消費額15兆円に合わせて変更するもの | 562 | 584 | 607 |
| | ⑩ (旧) 海外展開企業数(事業所) ▶ (新) 県の施策により新たな海外取引を開始した企業数(社)に変更 | 31 | 43 | 56 | 30 海外見本市等へ参加した県産加工食品関連企業数(社) | 変更 | 県の施策により、セミナー・商談会等への参加や支援策を活用した県産加工食品関連企業数(社) | ・事業の見直しによるもの ・海外展開を志向する企業が、情報収集やノウハウ習得のために参加するセミナー・商談会に加えて、補助金等の支援策を利用した企業数を指標とする。 | 150 | 150 | 150 |

| 中小企業活性化の目標 （「活性化した」と言える状況） | 目標達成を図る代表的な指標 （R4-R6）▶（R7-R9） | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 | 目標達成に向け、県の施策などで目指す指標 （R4-R6） | 方針 | 変更後（R7-R9）の指標 | 変更理由 | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 | |
|--|----------------------------------|----------------|----------------|----------------|---|----|--------------------------|--|------------|------------|------------|----|
| <p>若者、女性、高齢者等の就業支援により、県内大学・高校卒業者の県内中小企業への就職者数が増加するとともに、M字カーブの解消のため、中小企業が産産や育児等で離職した女性を積極的に活用するなど、中小企業における人材の確保が進む。また、職業訓練等により学卒者や離職者の再就職が進むとともに、企業に職者の技術・技能が高まる。</p> | <p>⑪ 15～69歳就業者数（人）</p> | <p>508,100</p> | <p>501,700</p> | <p>495,300</p> | 31 福岡県内大学新卒県出身者の県内就職者数（人） | 変更 | 福岡県内大学県内外出身者の新卒県内就職者数（人） | <p>現行の指標は、県出身者のUターン就職に限定しているが、dot.では県外出身者のUターンも推進していることから、先のとおり県外出身者を含む指標に変更するもの</p> | 427 | 427 | 427 | |
| | | | | | 32 女性の就業支援による就職人数（人） | 変更 | 女性の就業支援による就労率（%） | <p>・事業の見直しによるもの ・過去の女性の就業支援事業に係る就労率が50%を下回っており、事業を通じて就労につなげる取組をより強化する必要があることから、目指す指標を就労率55%以上とした。</p> | 55 | 55 | 55 | |
| | | | | | 33 男性の育児休業取得率（%） | 継続 | | | | 50 | 57 | 64 |
| | | | | | 34 おおいた子育て応援団認証企業数（社） | 変更 | おおいた子育て応援団認証企業総数（社） | <p>おおいた子ども・子育て応援プランの指標にあわせて変更するもの</p> | 650 | 700 | 750 | |
| | | | | | 35 大分県中高年齢者就業支援センターのキャリアコンサルティング利用者の就職者数（人） | 継続 | | | | 95 | 95 | 95 |
| | | | | | 36 障がい者雇入れ実習生の就職人数（人） | 継続 | | | | 70 | 70 | 70 |
| | | | | | 37 県内企業就職内定者数（人） | 変更 | 高校・大学等新卒者の県内就職率（%） | <p>本指標は、高校生及びおおいた産業人材センターの就職内定者数のみをカウントしているもので、R6年度からはいずれの事業のKPIにも採用していないことから、新長計の指標との整合性を取り、左記のとおり変更する。</p> | 59 | 59.5 | 60 | |
| | | | | | 38 若年技能者育成企業支援対象者の資格試験合格率（%） | 変更 | 若年技能者育成企業助成金支給件数（件） | <p>事業の見直しによるもの</p> | 14 | 14 | 14 | |
| | | | | | 39 工科短期大学校修了生のうち就職希望学生の就職率（%） | 継続 | | | | 95 | 95 | 95 |

| 中小企業活性化の目標 （「活性化した」と言える状況） | 目標達成を図る代表的な指標 （R4-R6）▶（R7-R9） | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 | 目標達成に向け、県の施策などで目指す指標 （R4-R6） | 方針 | 変更後（R7-R9）の指標 | 変更理由 | 7年度 目標値 | 8年度 目標値 | 9年度 目標値 |
|-------------------------------|----------------------------------|------------|------------|------------|--------------------------------------|----|---------------|------|------------|------------|------------|
| 戦略推進のための体制整備等 | - | | | | 40 支援施策の活用状況の割合（％） | 継続 | | | 80 | 80 | 80 |
| | | | | | 41 施策紹介サイト「おおいた中小企業支援ポータル」の年間閲覧回数（回） | 継続 | | | 120,000 | 120,000 | 120,000 |
| | | | | | 42 県内中小企業数の伸び率（全国伸び率対比） | 継続 | | | 1.01 | 1.01 | 1.01 |
| | | | | | 43 県内中小企業雇用数の伸び率（全国伸び率対比） | 継続 | | | 1.01 | 1.01 | 1.01 |